

週間漁海況情報 2025年第6号

令和7年2月12日発行

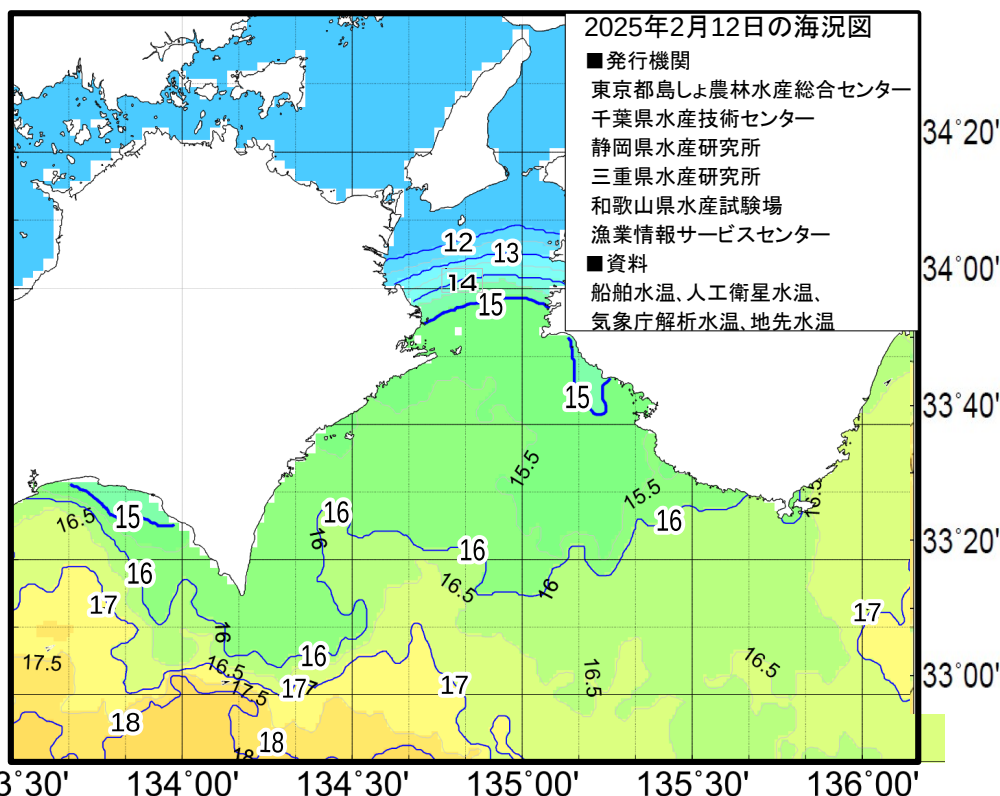
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖55マイル付近、潮岬沖150マイル以上を流れ、室戸岬で「離岸」、潮岬で「著しく離岸」している。

黒潮の表面水温は18～20℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で11、紀伊水道で11～15、海部沿岸で15～16℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～

潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

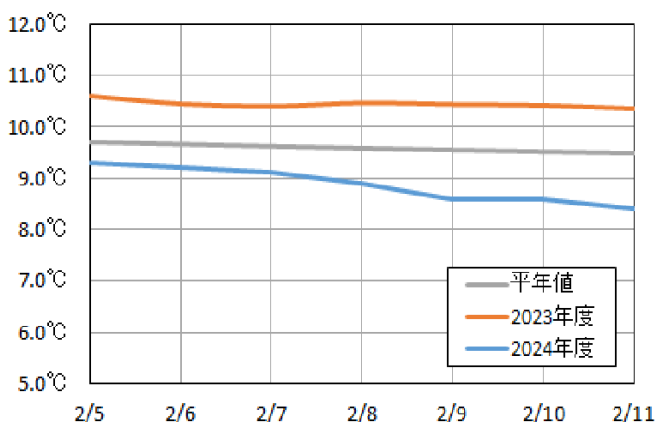
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

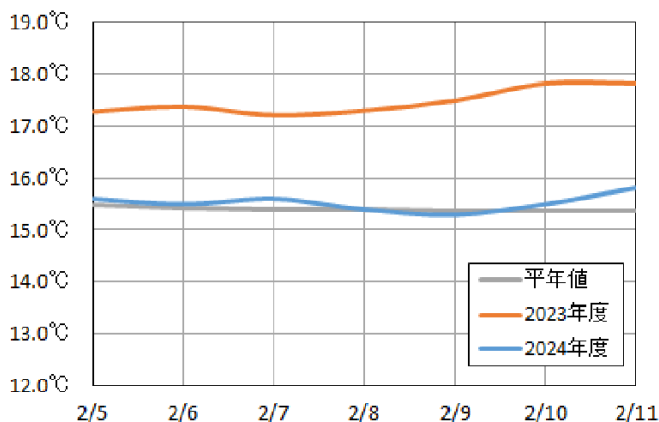
2. 地先水温(2月5日～2月11日)

鳴門地区の水温は、8.4～9.3℃で「平年並み」から「やや低め」、浅川地区は、15.3～15.8℃で「平年並み」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は、6.3～7.4℃だった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(2月12日～2月18日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「離岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区では「やや低め」、浅川地区では「平年並み」で推移する見込み。

漁況 (2月3日～2月9日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：4)

延縄では、あまだい類が大きく減って0.3ト、サワラが大主体に0.3ト、ブリが減ってめじろ級主体に0.2ト水揚げされた。

底びき網では、シリヤケイカが2.2ト、コウイカが大きく増えて大主体に1.6ト、えそ類が大きく増えて1ト、サワラが大きく増えて0.4ト、ヒラメが大きく増えて0.4ト、いとより類が大きく増えて0.3ト、あんこう類が大きく増えて小主体に0.3ト、かます類が大きく増えて0.2ト水揚げされた。

建網では、メジナが0.3ト、ボラが大主体に0.2ト、カワハギが増えて大主体に0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、ブリが大きく増えてつばす級主体に2ト、マアジが減って1.4ト、ボラが増えて大主体に0.6ト、ヒラメが0.4ト、カワハギが大主体に0.3ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

釣りでは、タチウオが0.3ト水揚げされた。

小型定置網では、カタクチイワシが増えて1ト、すずき類が大きく増えて0.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	延縄	32	あまだい類	310	10		↘↘
		16	サワラ	261	16	大主体	→
		15	ブリ	228	15	めじろ級主体	↘
	底びき網	29	シリヤケイカ	2,168	75		→
		19	コウイカ	1,565	82	大主体	↗↗
		22	えそ類	992	45		↗↗
		19	サワラ	361	19		↗↗
		19	ヒラメ	352	19		↗↗
		14	いとより類	258	18		↗↗
		15	あんこう類	250	17	小主体	↗↗
		25	かます類	206	8		↗↗
		建網	29	メジナ	322	11	
	8		ボラ	237	30	大主体	→
	31		カワハギ	221	7	大主体	↗
	小型定置網	21	ブリ	2,008	96	つばす級主体	↗↗
		22	マアジ	1,399	64		↘
		14	ボラ	587	42	大主体	↗
		24	ヒラメ	359	15		→
		23	カワハギ	256	11	大主体	→
海部沿岸	釣り	5	タチウオ	273	55		→
	小型定置網	11	カタクチイワシ	1,000	91		↗
		15	すずき類	202	13		↗↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘